

平成21年7月～平成28年10月の期間に、尿路感染症と診断し、当科で入院加療した小児およびご家族の方へ

『 小児尿路感染症の治療戦略に関する研究 』

1. 研究の対象

平成21年7月～平成28年10月の期間に、尿路感染症と診断し当科で入院加療した小児

2. 研究目的・方法

尿路感染症により入院加療を行った小児を対象に、起因菌や初期抗菌薬、治療効果について、診療録を用いて後方視的に解析し、最良な抗菌薬選択および Empiric therapy に対するリスクファクターを追求する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 入院時年齢・性別・基礎疾患有無・排尿時膀胱尿道造影検査結果・膀胱尿管逆流症有無および grade・起炎菌および薬剤感受性・初期抗菌薬・治療効果 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所: 倉敷市松島 577 川崎医科大学附属病院

電話: 086-462-1111

研究責任者: 小児科 医師 田中 悠平

5. 利益相反

この研究課題を実施する関係者には JCR ファーマ株式会社、アツヴィ合同会社、田辺三菱製薬株式会社、大正富山医薬品株式会社、帝人ファーマ株式会社、MSD 株式会社、第一三共株式会社、塩野義製薬株式会社より奨学寄附金の受け入れ、MSD 株式会社、ファイザー株式会社、大正富山医薬品株式会社、アステラス製薬株式会社、マイラン EPD 合同会社より報酬・謝礼・原稿料などの受け入れがあるが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。